

令和3年 第16回委員会会議録

1 開催年月日 令和3年10月18日（月）

2 開閉会時刻 開会：午前11時00分 閉会：午前11時42分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長、濱田委員長職務代理人、三原委員、石井委員

5 事務局職員 事務局長、選挙課長、庶務係長、選挙係長

6 傍聴者 なし

7 議 題

(1) 議案

議案第9号 直接請求に必要な選挙人の数について

(2) 報告事項

① 選挙人名簿登録者数について

② 在外選挙人名簿登録者数について

③ 令和2年度福岡市選挙管理委員会の決算について

(3) その他

次回以降の委員会の開催予定日時

・令和3年11月5日（金） 午前10時30分

・令和3年11月19日（金） 午前10時30分

・令和3年12月6日（月） 午前10時30分

8 議事次第（○：出席委員、▲：事務局職員）

(1) 議案

議案第9号について、事務局から説明を行い、審議の結果、出席議員の全会一致で可決された。

(2) 報告事項

報告事項①～③について、事務局から資料の説明・報告を行った。

(3) その他

・次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

【質疑等】

○ 報告事項1の選挙人名簿登録者数の資料中に、10月11日区委員長専決分として中央区1名とあるがこれは何か。

<p>▲ 中央区において、在外選挙人の登録移転があったため、国内の選挙人名簿を抹消するとともに、在外選挙人名簿の登録を行ったもの。</p>
<p>○ 10月14日の議決では間に合わなかったのか</p>
<p>▲ 選挙が近いことから、在外選挙人証を早急に発行するために、委員長専決で急ぎ対応したものである。</p>
<p>○ 令和2年度の選挙管理委員会の決算不用額は、そのまま不用となった額として捉えてよいのか。</p>
<p>▲ 不用額の多くは、県知事選挙及び県議会議員補欠選挙費の予算である。この予算は令和2年度と令和3年度にまたがるもので、このうち令和2年度の予算を執行する中で不用となったものである。また、経常予算の選挙管理委員会費と選挙啓発費の不用額については、指定都市連合会等の関連会議や研修が書面開催や中止となったことから旅費の多くが不用額として挙がっている。</p>
<p>○ 若者への啓発については、新有権者となる機会を捉え、投票を呼び掛けるはがきの送付が大事であり、引き続き検討してもらいたい。現在、20歳となる新成人への啓発はがきは送付しているが、それとは別の位置づけとして、18歳となる新有権者への啓発はがきの送付が大切と考える。</p>
<p>○ 新有権者への啓発について、政令市も含め他都市の取組みを調査し報告をお願いしたい。</p>
<p>○ 出前授業や主権者教育と結び付けた、一体となる取組みが必要である。</p>
<p>○ テレビで長野県の高校の主権者教育が特集されていた。若者の投票率を上げるため、1年生の段階からの主権者教育について紹介されていた。何かを変えるには、早い段階からの主権者教育や取組みが必要である。</p>
<p>○ 若者の投票率が低いのは福岡だけの問題ではなく全国的な問題。本来なら、主権者教育などと合わせて国の制度として考えていくべきものである。</p>
<p>○ 若者が投票に行く環境や仕組みを作っていく必要がある。</p>